

*English follows Japanese.

番号	項目	内容
1	奨学金No.	33
2	奨学金名称	アシュラン国際奨学財団（春募集）
3	応募方法	学内選考あり(推薦者数は3名)
4	支給額	月額10万円
5	支給期間	2025年4月～2027年3月 ただし、各課程の最上級年次者で、引き続き上級課程に進学しない場合は標準修業年限内の卒業までとする。
6	応募資格・条件	2025年4月1日時点で以下の項目をすべて満たすこと <ul style="list-style-type: none"> ・国籍：日本以外の国籍を有するアジア諸国から来日の私費外国人留学生 (対象国) 韓国・中国・台湾・香港・マカオ・モンゴル・インドネシア・カンボジア・シンガポール・タイ・フィリピン・東ティモール・ブルネイ・ベトナム・マレーシア・ミャンマー・ラオス・インド・スリランカ・ネパール・パキスタン・バングラデシュ・ブータン・モルディブ・アフガニスタン・イラン・ウズベキスタン・カザフスタン・キルギス・タジキスタン・トルクメニスタン ・在留資格：原則として「留学」、且つ日本国内に居住していること。 ・年齢在籍：35歳以下で学部生2年生以上、大学院の正規学生である者(研究生は不可)。 ・修学期間：現課程の標準修業年限終了までの期間が1年以上ある。ただし、卒業後引き続き上級課程に進学する場合を除く。 ・経済状況：修学のために経済的援助を必要としている。 ・成績健康：学業、人物ともに優秀で健康である。 ・日本語力：日本語での意思伝達が十分可能（日本語能力試験2級相当）である。 ・国際交流：国際理解と国際友好親善に寄与でき、財団主催の奨学生交流会に必ず出席できる。 ・併願併給：他の奨学金あるいはそれに類する金銭との併願、併給はできない。ただし、金銭の総額が文部科学省外国人留学生学習奨励費相当額までは可能とする。
7	奨学生の義務	・財団主催の奨学生交流会に必ず出席しなければならない。
8	日本語能力	日本語での意思伝達が十分可能（日本語能力試験2級相当）である者。 <ul style="list-style-type: none"> ・申請書類は日本語で本人直筆での作成が必要である。 ・面接は日本語で行われる。
9	応募期間	2025年2月12日（水）～2月21日（金）17時
10	学内選考結果発表	2025年2月27日（木）頃 応募者のうち推薦が決定した者に対し大学メールにて通知する。学内選考結果発表日にこの通知メールが届かない応募者は、非推薦とする。
11	学内選考で提出する書類	(1)学内選考用申請書 (2)成績証明書
12	財団へ提出する書類	(学内選考を通過した場合) (1)一般奨学金申請書(所定の様式) (2)履歴書(所定の様式) (3)資格証明書類(有資格者のみ、コピー可) (4)身上書(所定の様式) (5)身上書の別紙(所定の様式) (6)推薦状(学部長又は指導教員の自筆またはPCにより作成したもの。封緘すること) (7)成績証明書(現課程のものが入手困難な場合は前課程又は入学試験の成績・順位が分かるもの。) (8)学業状況(予定)表(所定の様式、学部生または新入大学院生の場合) (9)研究業績(予定)表(所定の様式、大学院生の場合) (10)在学証明書(現課程のもの。ただし新入の場合は「合格証明書」又は「合格通知書」を提出) (11)在留カードの写し(表と裏) (12)顔写真2枚(1枚は「一般奨学金申請書」に貼り、もう1枚は同封) *このうち、(1)(2)(4)(5)は本人が日本語で手書きしなければならない。 (8)(9)は日本語で自筆あるいはPCでの記入が可能である。
13	備考	・財団の選考時に日本語での面接がある。 ・財団への申請書類提出締切は2025年3月19日である。

(This document is translated using the AI translator DeepL.)

No.	Item	Contents
1	Scholarship No.	33
2	Name of Scholarship	ASSURAN International Scholarship Foundation (Spring Application)
3	Application Process	on-Campus Selection (Number of nominees: 3)
4	Stipends	¥100,000 / month
5	Duration	From April 2025 To March 2027 However, for students enrolled in the final year of each program who do not enter a more advanced program, the duration is until graduation within the standard academic year..
6	Eligibilities and Disbursement Requirements	All of the following must be satisfied as of April 1, 2025 <ul style="list-style-type: none"> • Nationality: Privately-financed foreign students from Asian countries whose nationality is other than Japanese Countries> Korea, China, Taiwan, Hong Kong, Macau, Mongolia, Indonesia, Cambodia, Singapore, Thailand, Philippines, Timor-Leste, Brunei, Vietnam, Malaysia, Myanmar, Laos, India, Sri Lanka, Nepal, Pakistan, Bangladesh, Bhutan, Maldives Afghanistan, Iran, Uzbekistan, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Tajikistan, Turkmenistan • Status of residence: "Student" in principle, and must reside in Japan. • Age enrollment: Under 35 years old and at least a 2nd year undergraduate student or a full-time graduate student (research students are not accepted). • Period of study: At least one year before the end of the standard term of study in the current program. However, this does not apply to students who will continue on to an advanced course of study after graduation. • Financial situation: Need financial assistance for study. • Academic Health: Excellent academic and personal character and good health. • Japanese language ability: The applicant should be able to communicate in Japanese (equivalent to Level 2 of the Japanese Language Proficiency Test). • International exchange: The scholarship recipient must be able to contribute to international understanding and international friendship and goodwill, and must be able to attend the scholarship exchange meetings hosted by the Foundation. • Concurrently applying for and receiving scholarships: Students may not concurrently apply for or receive scholarships from other scholarships or similar funds. However, the total amount of the scholarship may not exceed the amount equivalent to the Monbukagakusho Scholarship for International Students.
7	Scholar Obligations	• Scholars must attend the scholarship social hosted by the Foundation.
8	Japanese Language Proficiency	Applicants must be able to communicate in Japanese (equivalent to Level 2 of the Japanese Language Proficiency Test). <ul style="list-style-type: none"> • The application documents must be written in Japanese by your hand. • The interview will be conducted in Japanese.
9	Application Submission Period	Wednesday, February 12, 2025 - Friday, February 21, 2025, 5:00 p.m.
10	On-campus selection results	Around February 27, 2025 Applicants who are selected for recommendation will be notified by Kyushu University Primary Mail Service. Applicants who do not receive this notification email on the day on-campus selection results are announced will be considered non-recommended.
11	Required Documents (for on-Campus Selection)	(1) Application form for on-campus Selection (2) Transcript(a copy is acceptable)
12	Required Documents (for Foundation)	If you pass the on-campus selection process, the following documents are required. (1)Scholarship Application(prescribed form) (2)CV(prescribed form) (3)Documentation of qualifications (for qualified applicants only, a copy is acceptable) (4)Personal Statement(prescribed form) (5)Attachment to personal statement(prescribed form) (6)Letter of Recommendation (In the handwriting of the dean or faculty advisor or prepared by PC. Must be sealed) (7)Transcript(If the one for the current course is not available, the previous course or the admission examination results/ranking must be shown) (8)Academic Status (Schedule) Form (prescribed form, for undergraduate or new graduate students) (9)Research Achievement (tentative) (prescribed form, for graduate students) (10)Certificate of enrollment (for the current course of study. However, if you are a new student, submit the "Certificate of Acceptance" or "Letter of Notification of Acceptance") (11)Copies of the front and back of the resident card (12)Two photographs (one pasted on the "Scholarship Application" form and the other enclosed) No. 1,2,4,5 must be hand-written in Japanese by your hand. No. 8,9 can be filled out in Japanese by handwriting or by PC.
13	Comment	• There will be an interview in Japanese during the foundation's selection process. • The deadline for submitting applications to the Foundation is March 19, 2025.

公益財団法人アシュラン国際奨学財団

2025 年度（春期）

一般奨学金募集要項

【趣 旨】

アシュラン国際奨学財団は、志操堅固・学力優秀でありながら、
経済的理由により学業の継続が困難なアジア諸国からの私費
外国人留学生に対する奨学援助を通じ、アジア諸国間の友好
親善及び人材の育成に寄与することを目的としています。



ASSURAN International Scholarship Foundation
公益財団法人アシュラン国際奨学財団

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
アシュラン国際奨学財団 庶務課

アシュラン国際奨学財団は、健康で豊かな明日のアジアを担う原動力になることを願って、アジア諸国からの留学生を応援しています。

1. 奨学金の概要

- (1) 支給金額：月額 10 万円（給付型）
- (2) 支給期間：2025 年 4 月～2027 年 3 月の 2 年間
但し、各課程の最上級年次者で、引き続き上級課程に進学しない場合は標準修業年限内の卒業（修了）までとする
- (3) 支給方法：本人名義の銀行等の預金口座に振込
なお、奨学金の支給開始は 2025 年度奨学金贈呈式（本年 6 月開催予定）の終了後、4 月に遡及して行う
- (4) 採用人数：若干名
- (5) 併願併給：他の奨学金或いはそれに類する金銭との併願、併給はできません
但し、金銭の総額が『文部科学省外国人留学生学習奨励費』の相当額までは可とする
- (6) 卒後進路：就職、その他一切は本人の自由とする
- (7) 応募方法：大学を通じて募集し、学生からの直接応募は受け付けない

2. 応募資格

以下の項目をすべて満たしていることが必要である（2025 年 4 月 1 日時点）

- (1) 国 籍：アジア国籍（以下の対象国）を有し、日本で学ぶ私費外国人留学生
〈対象国〉韓国・中国・台湾・香港・マカオ・モンゴル・インドネシア・カンボジア・シンガポール・タイ・フィリピン・東ティモール・ブルネイ・ベトナム・マレーシア・ミャンマー・ラオス・インド・スリランカ・ネパール・パキスタン・バングラデシュ・ブータン・モルディブ・アフガニスタン・イラン・ウズベキスタン・カザフスタン・キルギス・タジキスタン・トルクメニスタン
- (2) 在留資格：原則として「留学」、且つ日本国内に居住している
- (3) 年齢在籍：35 歳以下で日本国内の大学・大学院の正規課程に在学している
- (4) 修学期間：現課程の標準修業年限終了までの期間が 1 年以上ある
但し、卒業後引き続き上級課程に進学する場合を除く
- (5) 経済状況：修学のために経済的援助を必要としている
- (6) 成績健康：学業、人物ともに優秀で健康である
- (7) 日本語力：日本語での意思伝達が十分可能（日本語能力試験 2 級相当）である

- (8) 国際交流：国際理解と国際友好親善に寄与でき、当法人主催の奨学生交流会に必ず出席できる

3. 奨学金の選考・決定

- (1) 選考方法：応募書類等の確認を兼ね対面面接を行い、本法人に設置する奨学生選考委員会の選考を経て、理事会の承認をもって決定する
- (2) 選考結果：6月上旬に大学及び本人へ通知する（不採用者には通知しない）
 なお、選考結果に関する問い合わせには対応しません
 また、採用決定者は6月開催予定の奨学金贈呈式及び奨学生交流会に参加ください

4. 出願手続

(1) 応募書類

応募書類	対象者・様式	言語・その他
一般奨学金申請書	全員 様式 1	日本語、自筆
履歴書	全員 様式 3-①	日本語、自筆
資格証明書類	有資格者 コピー	日本語
身上書	全員 様式 4-①	日本語、自筆
身上書の別紙	全員 様式 5-①	日本語、自筆
推薦状	全員 A4 用紙 1 枚 程	学部長又は指導教員の自筆・P Cによる封書 (自筆サイン又は捺印を要す) 英文の場合は日本語翻訳を添付
成績証明書	全員 原本	現課程が入手不可の場合は、前過程又は入学試験の成績・順位が分かるもの。 また GPA が分かるものがあれば添付

学業状況（予定）表	学部生・新入大学院生 様式 6	日本語、自筆・PC
研究業績（予定）表	大学院生 様式 7	日本語、自筆・PC 論文投稿、学会発表資料の右上部及び研究業績（予定）表に同じ番号を付す
在学証明書	全員 原本	現課程のもの 新入の場合は「合格証明書」又は「合格通知書」を提出
在留カード	全員 コピー	表裏
顔写真（2枚）	全員 5 cm× 4 cm	3 カ月以内の上半身正面近影カラー写真 1 枚は「一般奨学金申請書」に貼り、もう 1 枚は同封

(2) 応募書類の記入要領

書類の記入不備や不足等は審査対象外となりますので、次の掲げる記入要領を確認の上、作成してください

1) 全般的事項

- ①応募書類は片面印刷し、日本語（楷書）で丁寧に全ての欄を記入する
- ②アルファベット使用の場合は活字体、数字は算用数字とする
- ③万年筆又は黒色ボールペンで記入する

2) 一般奨学金申請書（様式 1）

- ①申請種類の新規に「○」を付ける
- ②年齢は 2025 年 4 月 1 日時点で記入する
- ③本国の住所・電話番号は親の居住先、親が居ない場合は帰国時の居住先を記入する
- ④日本の現住所は建物名、部屋番号まで記入する
- ⑤メールアドレスは読み間違いのないように丁寧に記入する
- ⑥在籍大学名等の大学名には、在籍する大学名と課程の入学年月を記入し、所属課程に「○」を付ける
学部欄には学部・学科・年次、大学院欄には研究科・学府名・専攻名・年次を記入し、年次は 2025 年 4 月時点とする

3) 履歴書（様式 3-①）

- ①学歴について、高校から2025年4月時点のすべての学校（大学院は課程別）を時系列に記入し、課程及び経歴は該当するものに「○」を付ける
 なお、個別塾を除く日本語学習校、研究生、交換留学等もすべて記入する
- ②職歴について、TA・RAやアルバイト歴は含めず、正規の職務経歴を記入する
 なお、ない場合は「なし」と記入する
- ③兵役について、制度の有無に「○」を付けて期間を記入し、時期未定の場合は未定に「○」を付ける
- ④資格・賞罰について、有資格の内容を記入し、資格を証する証書の写しを添付する
 なお、ない場合は「なし」と記入する
- 4) 身上書（様式4-①）
- ①家族状況について、父母のほか配偶者・子供・兄弟姉妹も記入し、死亡の場合は年齢欄に「死亡年齢」、同居欄に「死亡」と記入する
 また、職業欄は会社名（学生の場合は学校名）、役職、仕事内容（死亡の場合は生前の職業）を記入する
- ②経済状況の収入について、TA・RAは「アルバイト」、同居配偶者が留学生で日本政府奨学金・その他の奨学金を受給している場合は「同居家族の収入」、預貯金の取崩しは「その他の収入」に月額を記入し、摘要欄にその内容を記入する
 支出について、住居をシェアしている場合は「住居費」の摘要欄に自分を除く人数を記入する
 また、「食費」の摘要欄には自炊・外食の主な方に「○」を付け、「水道・光熱費」「学習費」「電話料・その他」の摘要欄には、費用の内訳を記入する
- ③入学金や授業料等は学習費に含めず、「年間授業料」や「授業料以外」の欄に減免前の金額（満額）を記入する
- ④日本での身元保証人は、日本在住の成人の一般人に限ることとする。
 なお、保証人たる知人がいない場合は、大学事務局に願います
- 5) 身上書の別紙（様式5-①）
- ①身上書の6.その他、「日本留学の目的」「卒業後の予定および将来希望する進路」について、各200文字以内で記入する
 なお、マス目はできるだけ埋めること
- 6) 学業状況（予定）表（様式6）
- ①学部生及び新入大学院生は、学業・研究の概要、卒業要件、単位取得状況、卒業論文、発表の実績（予定）等について記入する
 なお、該当事項がない場合は「なし」と記し、その理由も記入する
- ②様式は問われないが、様式6にある記載事項は全て記入する

7) 研究業績（予定）表（様式7）

①大学院生は、研究の内容及び業績、学会発表の実績（予定）等を年代の新しい順に記し、著者や発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順の通りに書き、自分の名前に下線を引き、口頭発表は発表者に*を付記し、公刊論文（レフリー付）で査読中の場合は、その旨を明記する

なお、研究業績、予定等が無い場合は「なし」と記し、その理由を記入する

また、投稿論文、学会発表資料の右上部及び研究業績（予定）表に同じ番号を付け、クリップでまとめる（※ホッチキスで綴じないこと）

②下表に該当するものを記入する

公刊論文 (レフリー付・レフリーなし)	論文題目・著者（全員）・学術誌名・出版社・ 発表年・巻・ページ（最初と最後のページ）
学術論文	
学術発表（国内）	論文題目・発表者（全員）・学会名・開催場所・ ポスター発表 or 口頭発表・発表年月
学術発表（海外）	
著書	題目・発表者（全員）・出版社・出版年等

※論文コード（DOI）がある場合は記載ください

③様式は問わないが、様式7にある記載事項は全て記入する